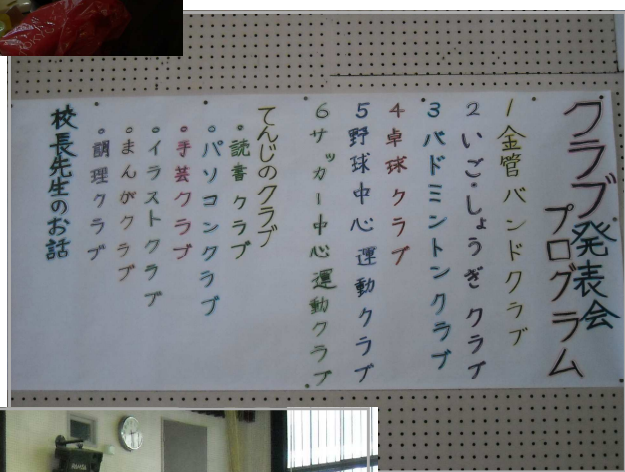


第4章 クラブ活動



1 目標

※学習指導要領の改訂により目標が示されるようになりました。

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

「クラブ活動」は主として第4学年以上の児童で組織される学年や学級が異なる同好の児童の集団によって行われる活動です。このクラブ活動の目標をまとめると下のようになるでしょう。

- 共通の興味や関心を追求するために、目標をもって活動
- 学年や学級の所属を離れた異年齢集団による活動
- クラブの一員としてよりよいクラブづくりに寄与するための役割や責任を果たす活動
- 自己をよりよく生かして活動することについて、子ども自身が意識して努力する活動
- みんなで話し合い、協力して活動したり、異年齢における望ましい人間関係を築いたり、集団の一員としての自己の生き方についての考えを深める活動

クラブ活動の目標を達成するために

- 子ども一人一人がよさを十分発揮しながら創意工夫する活動にしましょう。
- 子どもたちの自発的・自治的な活動が展開できるようにしましょう。



子どもたちには

- ①はっきりした自分のめあてをもたせましょう。
- ②自分たちで、活動の計画を立てさせましょう。
- ③自分の役割をはっきりさせ、進んで活動できるようにしましょう。

五年生が協力してくれ
たおかげで、いい計画
が立てられたよ。
ありがとう。

六年生のお兄
さん、やさしく
教えてくれてあ
りがとう。

六年生がアドバ
イスしてくれ
て、いい意見が
言えました。

四年生は初めて
のクラブだからや
さしく教えてあげ
ようね。



☆異年齢集団の交流を深め・・・

2 内容

クラブ活動の内容は次のように示されています。

学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。（※アンダーラインは本編集委員）

- (1) クラブの計画や運営
- (2) クラブを楽しむ活動
- (3) クラブの成果の発表



今回の学習指導要領の改訂で、内容に「異年齢集団の交流を深め」という言葉が付け加えられているわ。

活動の内容も3つに分けて示されたわ。

異年齢の子どもたちの集団による活動を一層重視していく必要があるね。



(1) 留意点

①クラブの計画や運営

- ・各クラブの全員の子どもによって立てられる。
- ・前年度の活動の記録や前年度の活動していた子どもの意見を聞く。
- ・運営は自発的・自治的に子どもたちの意志によって決定し、進める。

「組織づくり」「年間活動計画の作成」「活動時間の過程」などの問題について決めておく。

②クラブを楽しむ活動

- ・協力しながら活動することを通して共通の興味や関心を追求すること。
- ・子どもに思考・判断・表現の資質や能力を身につけることができる活動かどうかという視点から活動を精選する。
- ・家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用を工夫する。

③クラブの成果の発表

- ・活動の場を確保すること

運動会や学芸会などの学校行事の場、児童会全校集会活動の場
校内放送や展示による日常の発表

年間の活動のまとめとして行う展示や映像，実演

校外活動（音楽会，敬老会，新聞雑誌への投稿，競技会への参加）

（２）内容を決定するにあたって

全教員で共通理解をしておくこと

- 全教員が指導することを前提とした内容を設定する。
- 全教育活動を深化し，発展させる活動であり，学校の文化性が特色として表れる内容であること。
- 学校の伝統や文化に支えられ，それをさらに維持し，発展させるような内容も大切であることを配慮する。
- 子どもが主体的に参加できる内容とし，その運営は自治的に活動できるよう配慮する。
- 主として4学年以上の異年齢の子どもによって構成され活動することができるよう内容を考慮する。
- 活動の経費は公費をもって充てるが，活動の結果，作品が個人のものとなる場合は自己負担とすることもあることも理解し，年間計画などで明らかにしておくこと。

（３）クラブ活動の例 （クラブ活動の活動例（上段）と成果の発表例（下段））

クラブ活動は， ①とにかく楽しく ②とことん練習して ③しっかり計画を
④自分たちの力で ⑤下級生の気持ちを考えて ⑥活動は単純に
⑦クラブ以外の時間を有効に使う



料理クラブ

- 菓子作りや調理をするクラブ。
- レシピの紹介。
- 試食会の開催。

演劇クラブ

- 昔話や創作劇を発表するクラブ。
- 創作劇の発表会を開く。

けん玉クラブ

- けん玉の技を磨くクラブ。
- 発表会を開いたりけん玉教室を開いたりする。

写真クラブ

- 撮りたい写真を撮ってプリントするクラブ。
- 写真の展示会を開く。

オセロクラブ

- オセロゲームを工夫して楽しむクラブ。
- オセロゲーム大会を開く。

パソコンクラブ

- パソコンに親しみ操作の上達を目指すクラブ。
- パソコンゲーム大会を開く。

まんがクラブ

- まんがイラストや共同まんがを創作するクラブ。
- まんがの展示会やまんがをかく。

阿波踊りクラブ

- 阿波踊りを楽しむクラブ。
- 運動会や表現会で披露する。

和太鼓クラブ

- 和太鼓をたたくクラブ。
- 和太鼓の発表会を開く。

世界クラブ

- いろいろな国を知るクラブ。
- 交流会や展示会を開いたりする。

科学クラブ

- スライムやせっけんなどを作るクラブ。
- 科学教室を開く。

ダンスクラブ

- 音楽に合わせてダンスを楽しむクラブ。
- ダンス発表会を開く。

フラッグフットクラブ

- フラッグフットを楽しむクラブ。
- ゲームの見学会。ゲームの体験会。

手話クラブ

- 手話を学び、手話でコミュニケーションをとるクラブ。
- 手話の活用。

手芸クラブ

- 手芸作品を創作するクラブ。
- 作品展示会を開く。

フラッグクラブ

- フラッグを使っての踊りを楽しむクラブ。
- 運動会や表現会で披露する。

茶道クラブ

- お茶の作法を学ぶクラブ。
- お茶の作法の発表会を開く。

一輪車クラブ

- 一輪車の技を磨いたり、集団演技を作ったりするクラブ。
- 発表会を開く。

ゲームクラブ

- ゲームを楽しんだり、ゲームを創作するクラブ。
- ゲーム大会を開く。

タグラグビークラブ

- タグラグビーを楽しむクラブ。
- ゲームの見学会。ゲームの体験会。

ものづくりクラブ

- ジャンルをこえて様々なものをつくるクラブ。
- 発表会、展示会を行う。

音楽クラブ

- 手持ちの楽器や音楽室の楽器を使って合奏を楽しむクラブ。
- 発表会をする。

工作クラブ

- 工作をするクラブ。
- 作品展示会を開く。

卓球クラブ

- グループで教え合って卓球の上達をめざすクラブ。
- リーグ戦を開催する。

イングリッシュクラブ

- 英語活動を楽しむクラブ。
- 外国の方と会話をする会を設ける。

球技クラブ

- 様々な球技を体験し、楽しむクラブ。
- おもしろかった球技の紹介をする。

陸上クラブ

- 走ったり跳んだりして記録に挑戦するクラブ。
- 記録掲示板を作る。

大正琴クラブ

- 大正琴を弾くクラブ。
- 発表会を開いたり、参加したりする。

ゲートボールクラブ

- ゲートボールを楽しむクラブ。
- ゲートボール体験会の開催。集会で技を紹介。

囲碁将棋クラブ

- 囲碁将棋を楽しむクラブ。
- 将棋大会の開催。詰め将棋の紹介。

パズルゲームクラブ

- パズルやクロスワードゲームを解いたり作ったりするクラブ。

百人一首クラブ

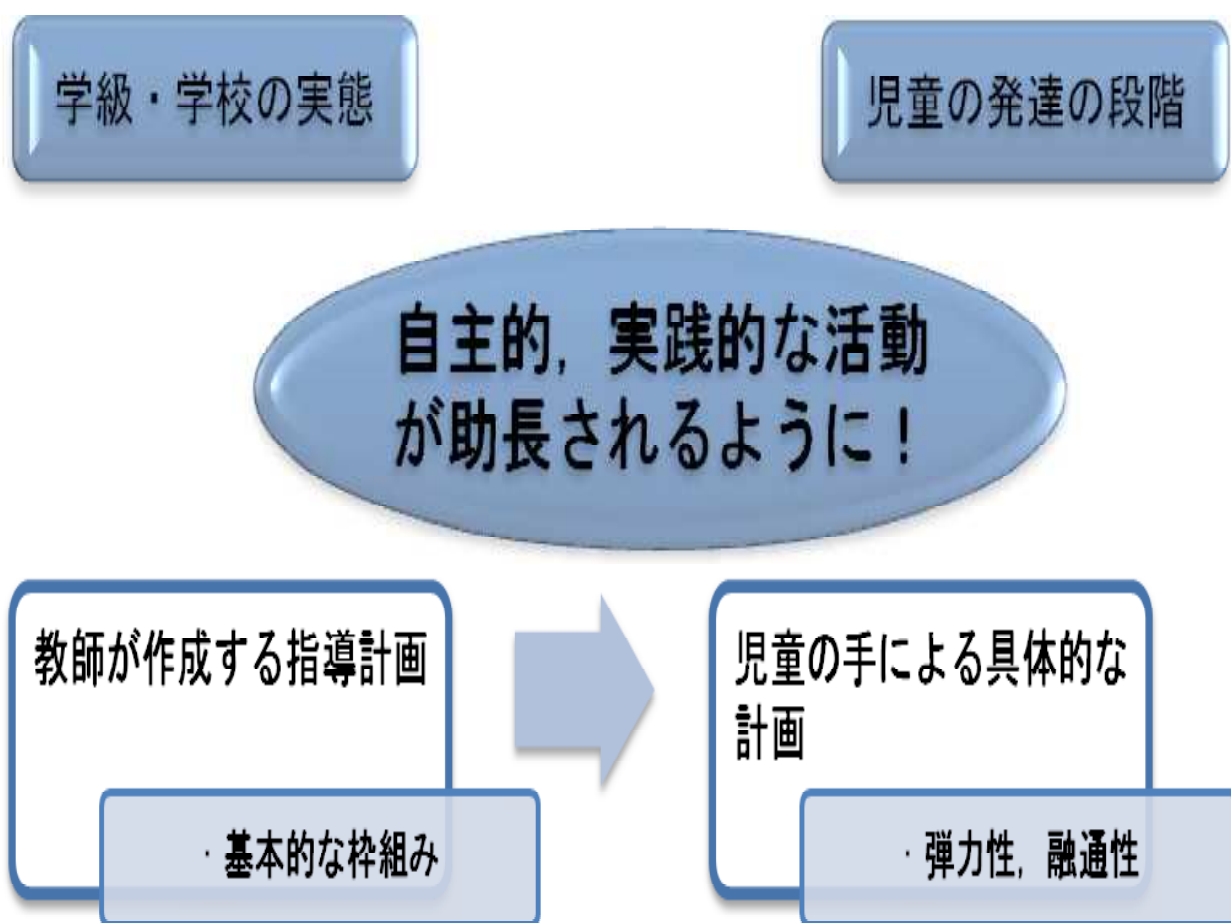
- 百人一首を楽しむクラブ。
- タイムアタック。大会の開催。

3 クラブ活動の指導計画

クラブ活動は次のようなことに配慮して年間指導計画を作成する。

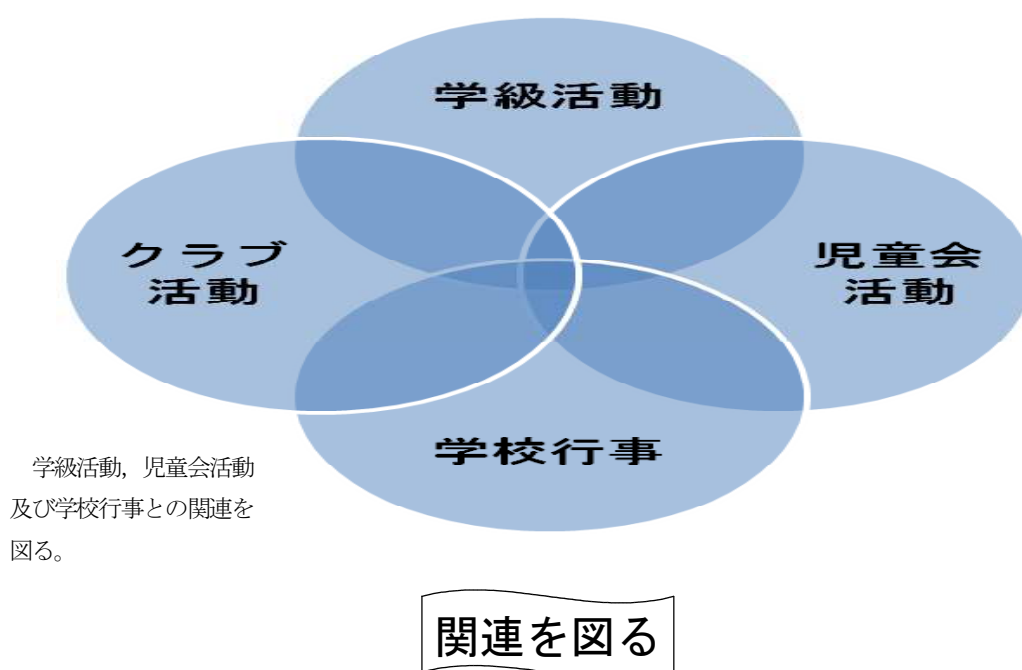
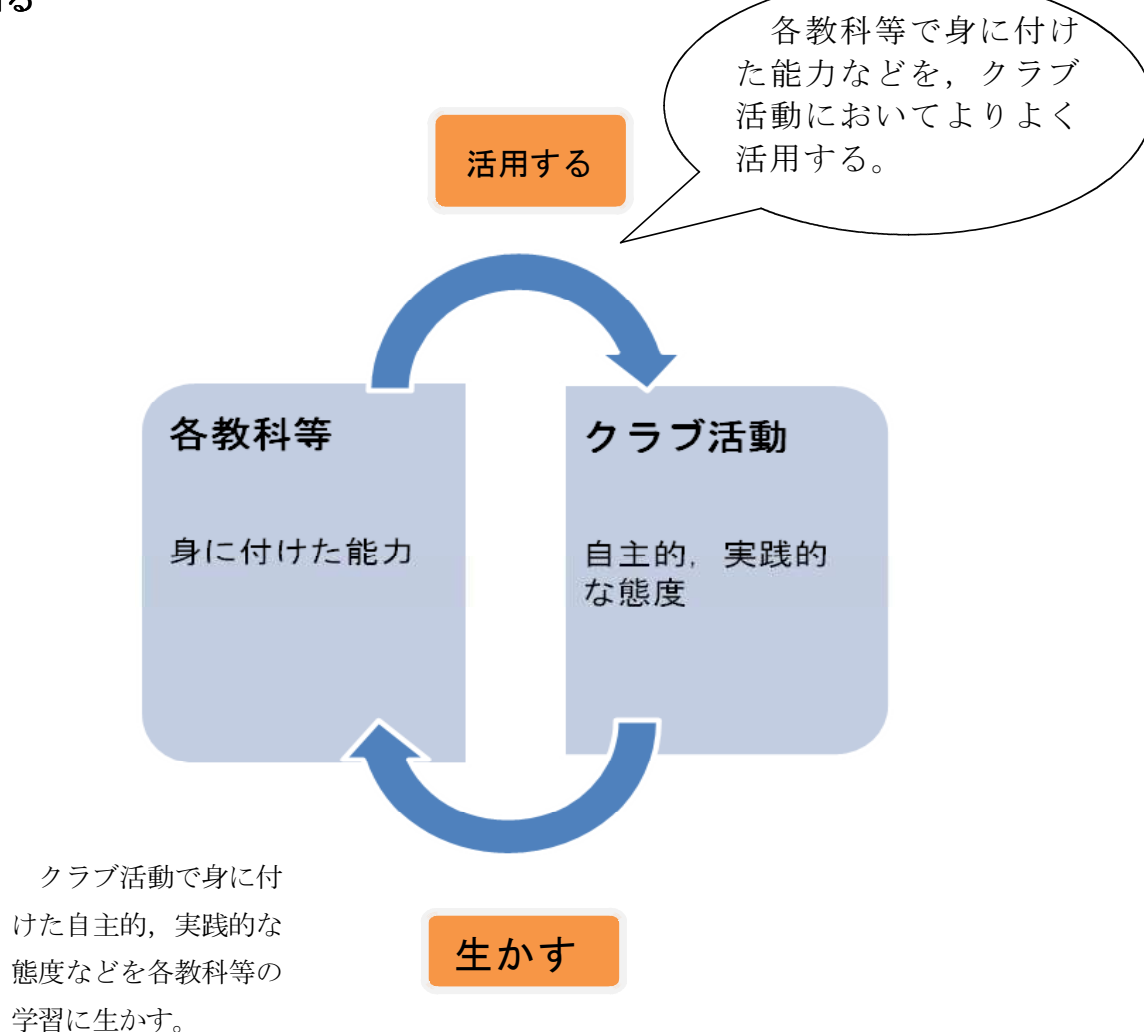
(1) 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする

- ① 児童数や学級数の多少，指導に当たる教職員の組織，施設，設備などの学校の実態などを考慮して，設置するクラブの数や人員，活動内容などを定めて指導計画を作成すること
- ② 児童の発達の段階などを考慮すること
- ③ 教師の適切な指導の下に自らの興味・関心に基づく活動が積極的に展開されるよう配慮すること
- ④ 学校の実態や学級における活動の経験を十分考慮して計画を作成すること
- ⑤ 教師が作成する指導計画は，内容，方法，時間などあらかじめ基本的な枠組みを定めておき，実際の活動は，児童の手によって具体的な計画が立てられるよう弾力性，融通性に富むものであること
- ⑥ 異なる学年や学級の児童が一緒になって，豊かな集団活動を自発的，自治的に展開しながらクラブづくりに参画できるようにすること



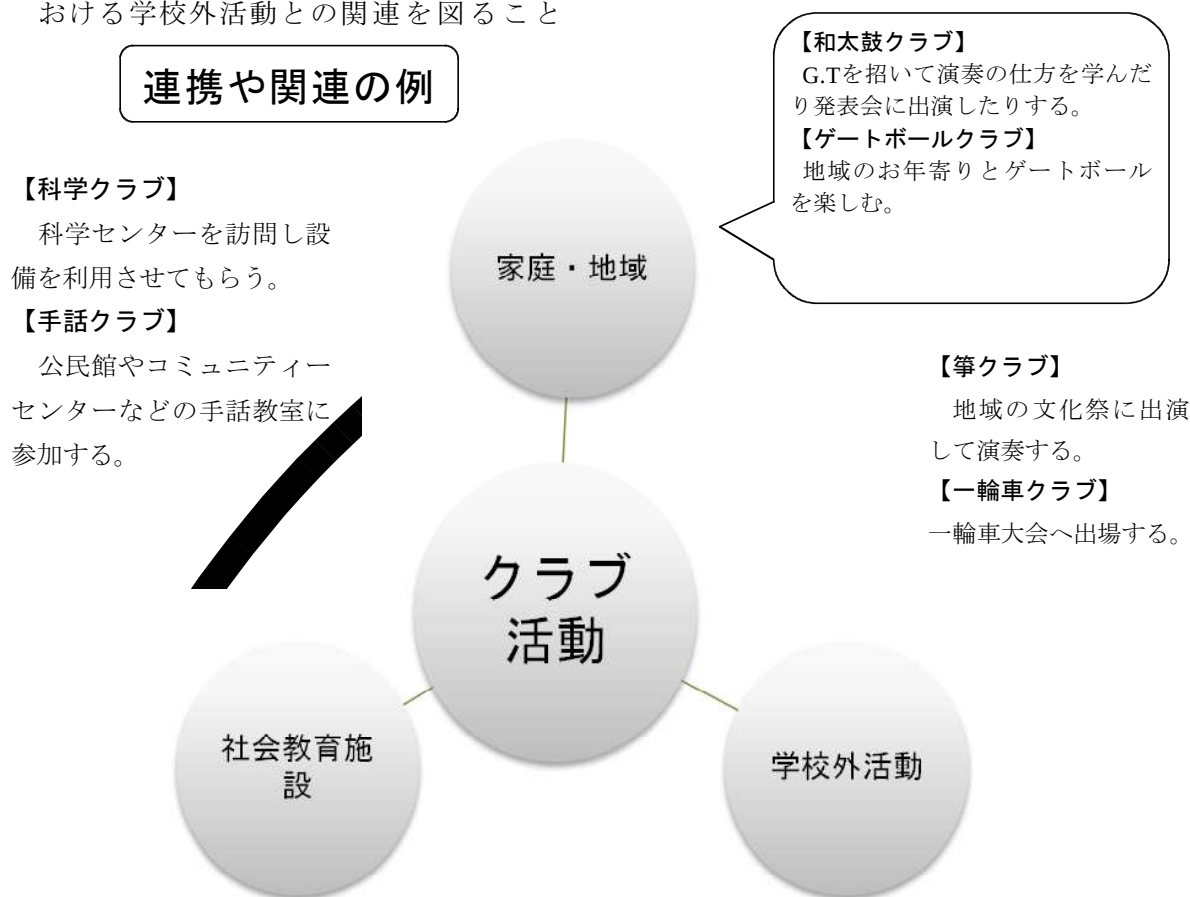
教師の適切な指導の下に，異なる学年や学級の児童が一緒になってクラブづくりに参画

(2) 各教科，道徳，外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る



(3) 家庭や地域の人々との連携，社会教育施設等の活用などを工夫する

- ① 家庭や地域の協力を得たり，社会教育施設を活用したりすること
- ② 校外へ出て活動を行うクラブについては，児童の安全確保に努めるとともに，その教育的意義を明確にして指導計画を作成すること
- ③ 余暇の拡大や生涯学習の進展などにともない，学校でのクラブ活動と家庭や地域社会における学校外活動との関連を図ること



(4) クラブ活動の組織

- ① 児童の興味・関心ができるだけ生かされる組織であること
- ② 教科的な色彩の濃い活動を行うクラブ活動の組織にならないこと
- ③ 学校や地域の実態に即した組織であること

(5) その他の配慮事項

- ① 全校の教師により作成すること
全教師のクラブ活動に対する共通の理解や指導姿勢を基盤として行う必要がある。
- ② 年間指導計画に示す内容
年間指導計画に示す内容には，例えば，次のものが考えられる。
 - ア 学校におけるクラブ活動の目標
 - イ クラブの組織と構成

- ウ 活動時間の設定
- エ 年間に予想される主な活動
- オ 活動に必要な備品、消耗品
- カ 活動場所
- キ クラブを指導する教師の指導体制
- ク 評価の観点など

年間20～30時間は実施したいですね。



③ 実施学年

クラブ活動は、主として第4学年以上の児童による活動であるが、小規模校においては第3学年以下の学年からの実施も考えられる。

④ クラブへの所属

その学年において同一クラブに所属して活動することを原則とすることが望ましい。

⑤ 時数の取り方

年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる。「適切な授業時数」とは、クラブ活動の目標が十分に達成できるような授業時数である。また、時間割表に明確に位置付けて児童の興味・関心が持続し継続的に活動できるようにすることが大切である。

(6) 教師の適切な指導

クラブ活動の内容は

- (1) クラブの計画や運営
- (2) クラブを楽しむ活動
- (3) クラブの成果の発表 の3つである。

時数はほとんどが(2)にあてられるが教師の適切なかわりの工夫として(1)の話し合いの充実や(3)の活動の充実を大切にしたい。

第1回活動の重視

共通の興味関心をもった異年齢の子どもたちが初めて顔を合わす大切な時間である。次のようなことを話し合いクラブ活動スタートの時間を重視したい。

- ねらいや運営のしかたについての指導
- 自己紹介・代表者の決定
- 活動計画の話し合い
- めあての設定
- クラブの名称

情報発信の工夫

積極的な情報発信をすることで異学年や異なるクラブとの交流ができ、さらには保護者や地域の方との交流を図ることができる。情報発信の具体的な例として

- クラブコーナーの常設
- 学習発表会での発表や展示
- クラブ発表会 などがあげられる。